

証券コード：5491

株 主 便 り

第118期
2024年3月期



毎年3月・9月発行

Contents

P1 トップメッセージ

P3 トピックス

P6 業績ハイライト

P7 会社概要・株主メモ



人と地球にやさしい新たな価値を共創する
Multi & Hybrid Material 企業

“NIPPON KINZOKU 2030”への新たなステージが始まる。
進化する社会のニーズを見据え、未来を拓く日本金属へ。



日本金属株式会社

トップメッセージ



株主の皆様には、日頃より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
「株主便り2024年9月号」をご高覧いただくにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

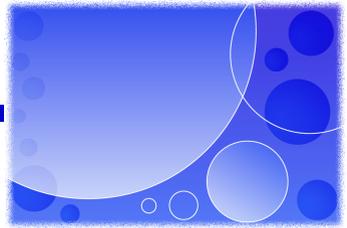
取締役社長 下川 康志

2025年3月期連結業績予想について

2025年3月期連結業績予想は、上期は売上高260億円、営業損失2億円、経常損失3億円、当期損失2億円、通期では売上高540億円、営業利益3億円、経常利益1億5千万円、当期純利益1億円としており、第2四半期以降の業績回復を見込んでおります。

前期販売数量減の要因であった、半導体不足などによる自動車関連などのサプライチェーンの在庫調整の影響は解消されつつあり、タイヤ空気圧センサーなどの自動車部品や家電製品などに幅広く使用されるコイン電池向けステンレス材は、在庫調整が収束し、実需増、在庫積み増しに転じるなど、主力のステンレスの販売数量は前年同期比では回復傾向にあるものの、現時点で、当初想定していた水準までの回復は厳しい見通しです。ステンレスの市場環境について、特に影響が大きいのは、中国市場における中国現地メーカー製EVの急速な普及による日本車の販売不振があります。欧州や北米では、EV普及が一段落し、HVが見直されるなど、日本車の販売は回復傾向にあります。自動車向けステンレス・モール材は、主力輸出先である中国における自動車関連の販売数量が低迷しております。中国市場では、数年前から、医療や計測器向け内面高精度管などのファインパイプや電力向け極薄電磁鋼帯など、ステンレス以外の製品、自動車以外の市場での差別化製品の市場開拓に注力しており、現状ではマイナス分をカバーするには至っておりませんが、新規受注を獲得しております。

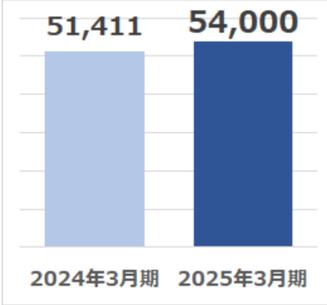
その他の鋼帯セグメントでは、極薄電磁鋼帯は生成A1や再生エネ普及などで電力インフラ



2025年3月期の連結業績予想

連結売上高

単位：百万円



連結営業損益

単位：百万円



連結経常損益

単位：百万円



連結当期純利益

単位：百万円



関連の需要が増加しており、みがき特殊帯鋼も堅調に推移しております。加工品セグメントでは、文具向けパイプが当社ユーザーの特に中国向け販売不振による在庫調整で上期は販売減となり、建築用や自動車用の型鋼と異形圧延製品の販売が低迷しておりますが、独自製品である意匠性Iバーは複数の物件を受注しております。

通期の業績予想について、当初の想定に対し、前述のように市場環境の変化が見込まれるため、見直しを進めており、まとめ次第開示いたします。

前期、今期と厳しい経営環境が続きますが、第11次経営計画の柱である新事業アイテムを中心とした高収益差別化製品の拡大を推進しており、来期2025年度以降、売上高、収益に大きく寄与する見通しです。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第117期定時株主総会を開催しました

2024年6月27日(木)に当社本店（板橋工場）にて、第117期定時株主総会と株主懇談会を開催いたしました。昨年に比べ新型コロナウイルス感染拡大防止対策を一層緩和したほか、本社移転に伴い2018年以來の板橋工場での総会開催となりました。

株主総会には18名の株主が来場し、定款の定めにより取締役社長の下川が議長となって117期（2024年3月期）の経営成績や決算の内容などについて報告を行いました。その後の決議事項の採決では、全議案が可決され、閉会となりました。

株主総会後には株主の皆様当社への理解を深めていただき、また、当社役員と株主との対話を促進する場として株主懇談会を開催しました。カーボンニュートラル実現に向けた当社の製品・技術として、当社独自の基準で認定する環境配慮製品「エコプロダクツ」や水素社会に貢献する製品の紹介を行い、株主との質疑応答、意見交換を実施しました。

ご出席いただいた皆様、議決権を行使いただいた皆様、誠にありがとうございました。



◆役員（2024年8月31日現在）

取締役社長 （代表取締役）	下川 康志	社外取締役（独立役員）	小川 和洋
専務取締役	原田 喜弘	社外取締役（独立役員）	永塚 良知
専務取締役	山下 匡史	社外取締役（独立役員）	假屋 ゆう子
常務取締役	長谷川 伸一	常勤監査役	進藤 紀充
常務取締役	山崎 修	社外監査役（独立役員）	砂山 晃一
		社外監査役	浦上 純一郎

役員／組織
（当社ホームページ）



本社事務所を移転しました

当社は2024年8月19日（月）に、本社事務所をG-BASE田町へ移転しました。



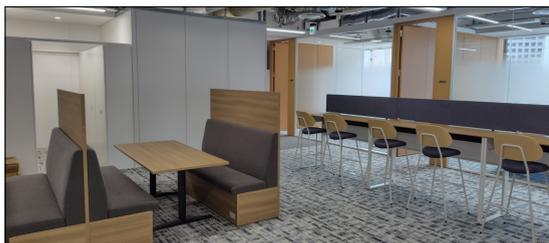
G-BASE田町 外観

新住所：東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE田町10・11階
（総合受付11階、9階にはグループ会社の日金スクールが入居）
JR山手線・京浜東北線「田町駅」三田口（西口）より徒歩5分
都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」A3番出口より徒歩3分

旧本社事務所は築30年超となりメンテナンス頻度が高まっていたほか、より働きやすいオフィス環境へのリフォーム・リノベーションが難しかったため、本社事務所を移転することになりました。

新本社事務所では、一人当たりの就業スペースやオープンミーティングスペースの拡大、6フロアに分かれていたオフィスを2フロアに集約するなど、業務の効率化や多様な働き方を実現するオフィス環境を整備し、従業員がより働きやすい職場環境を確保しています。

また、本社事務所移転に伴い、ショールームもリニューアルしました。新ショールームでは、第11次経営計画「NIPPON KINZOKU 2030」（2020年度～2029年度）の最終フェーズとなる第3フェーズ（2025年度～2029年度）のコンセプト「ターゲットアイテム拡大・事業化」と「高収益体質の実現」に資する「新事業アイテム」や、当社が目標とする2050年のカーボンニュートラルの実現に貢献すべく当社独自の基準で認定する環境配慮製品「エコプロダクト」などの展示に加え、当社の独自製品に触れて体感していただくコーナーなどを設置し、当社の特長ある製品をご紹介します。



オープンミーティングスペース



ショールーム

「くるみん認定」を取得しました

2 024年6月10日、当社は仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定する「くるみん認定」を取得しました。

これまで当社が取り組んできた「男性の育児休業取得率の向上」、「仕事と子育てを両立しやすい職場環境の整備」、「所定外労働の削減」への取り組みが評価され、認定取得に至りました。

当社ではこれからも、柔軟な働き方と多様な人材が活躍できる体制構築に取り組み、すべての職員が自分の力を最大限に発揮できる「活力ある職場づくり」の実現に努めてまいります。

詳細はこちら（プレスリリース）

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/assets/images/2024/06/d63791-38-056565d35907d69c8dc5bccfacb012aa.pdf>



基準適合一般事業主認定通知書
日本金属株式会社
取締役社長 下川 康志 殿
貴社の令和二年四月一日から令和六年三月三十一日までの一般事業主行動計画については、次世代育成支援対策推進法第十三条に基づく基準に適合するものであると認定しましたので、通知します。
令和六年六月十日
東京労働局長



受領した基準適合一般事業主認定通知書

冷間異形圧延製品を「Fine Profile（ファイン・プロファイル）」と命名しました

当社は、独自の冷間圧延技術や専用設備を組み合わせる事により、鉄系から非鉄系まで様々な金属に対応した冷間異形圧延製品を「Fine Profile（ファイン・プロファイル）」と命名し、商標登録を行いました。

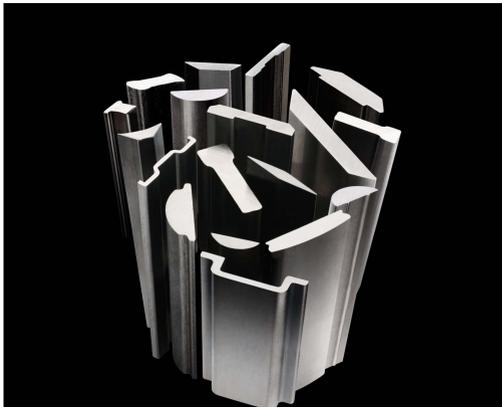
ファイン・プロファイルは切削や研削など様々な加工の代替手段として、お客様の製造コスト削減、歩留り向上などに貢献する製品であり、新たなニーズに対応した当社独自の新製品です。また、ファイン・

プロファイルはお客様での切削工程省略により環境負荷低減が可能なため、当社独自の基準で認定する環境配慮製品「エコプロダクト」でもあります。

第11次経営計画の柱である新事業アイテムのひとつとして、ファイン・プロファイルの今後の販売拡大を目指してまいります。

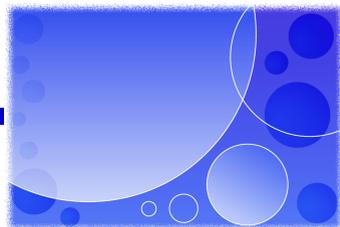
詳細はこちら（プレスリリース）

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/assets/images/2024/07/d63791-40-b3d3d37eff9dfc9963987c9a18880981.pdf>



Fine Profile（ファイン・プロファイル）の例

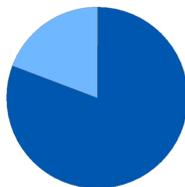
第118期第1四半期業績ハイライト



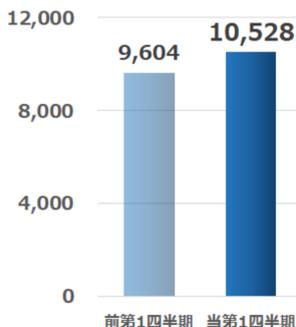
◆みがき帯鋼事業

売上高比率

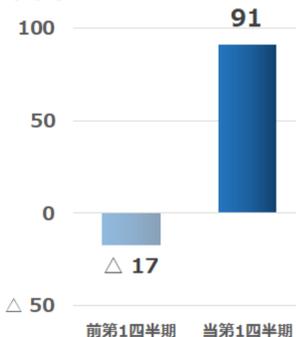
80.8%



売上高



営業利益

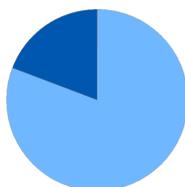


主力製品である自動車関連用途では、当社のサプライチェーン間での在庫調整局面が終了し、直前期比では受注数量が回復傾向となったことに加え、電池関連用途などの需要が回復したことで、当第1四半期連結累計期間のみがき帯鋼事業の売上高は、前年同期比923百万円（9.6%）増収の10,528百万円、営業損益は91百万円の利益（前年同期は17百万円の損失）となりました。

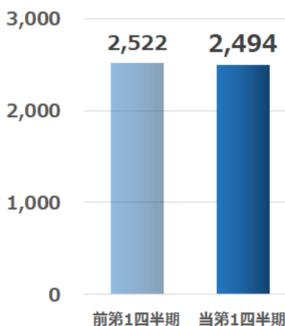
◆加工品事業

売上高比率

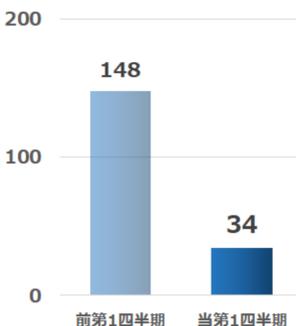
19.2%



売上高



営業利益



岐阜工場取扱製品では、自動車関連用途や文具関連用途などが低迷し、福島工場取扱製品では、主力製品である自動車駆動部品用高精度異形鋼や建築関連用途などが減少したため、当第1四半期連結累計期間の加工品事業の売上高は、前年同期比28百万円（1.1%）減収の2,494百万円、営業利益は前年同期比114百万円（76.9%）減益の34百万円となりました。

会社概要・株主メモ

◆会社概要

(2024年6月30日現在、本社事務所は8月19日現在)

◆株主メモ

創業	1930年11月10日	事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで の1年
設立	1939年12月2日	定時株主総会	毎年6月
本店所在地	東京都板橋区舟渡四丁目10番1号	株主名簿管理人	東京都千代田区 丸の内一丁目3番3号
本社事務所	東京都港区芝五丁目29番11号 G-BASE田町10・11階 電話(03) 5765 - 8111 (大代表)		みずほ信託銀行 株式会社
資本金	68億5千7百万円		
連結従業員数	872名		
当社従業員数	591名		

	証券会社等に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主 配当金受取方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	当社の特別口座の口座管理機関みずほ信託銀行へお問い合わせ願 います。 〒168-8507東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
未払配当金の お支払	右記みずほ信託銀行 までお問い合わせ願 います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電 子提供制度(書面 交付請求)につい てのお問い合わせ	お取引の証券会社ま たは右記みずほ信託 銀行までお問い合わ せ願います。	ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく 必要があります。



単元株式数	100株
公告方法	当社のホームページ (https://www.nipponkinzoku.co.jp) に掲載します。ただし、 事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合 は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場